

2026

No. 118

Winter

Dance Dance Dance

世界ダンススポーツ連盟会長 ニューイヤーメッセージ

第45回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権

ねんりんピック岐阜ダンススポーツ交流大会

ダンススポーツグランプリ in 北海道



<http://www.jdsf.or.jp>



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation



New Year's Message 2026

New Year Message 2026 – Shawn Tay, WDSF President

As President of the World DanceSport Federation, I am pleased to extend my warmest New Year wishes to the Japan DanceSport Federation, its officials, athletes and members, as we welcome the beginning of 2026.

The past year has once again highlighted Japan's contribution to the international DanceSport community. The organisation of major WDSF events, including the 2025 WDSF World Breaking Championships in Kurume, Fukuoka, and the WDSF-PD Super Grand Prix Standard Adult held earlier this year in Tokyo, reflected the organisational standards and commitment that continue to characterise DanceSport in Japan.

As we look ahead to 2026, DanceSport continues to evolve as a truly global and lifelong sport, offering meaningful opportunities for participation, performance and personal development across all age categories and disciplines. WDSF remains committed to strengthening good governance, supporting athletes, and ensuring fair and transparent competition environments, in line with the values of the Olympic Movement.

Japan continues to play an active role within the WDSF structure, contributing not only through the organisation of international championships, but also through athlete development and engagement at all levels. The ongoing collaboration with the Japan DanceSport Federation is an important element in the continued growth of DanceSport in Asia and worldwide.

I would like to thank the JDSF leadership, officials and volunteers for their continued efforts and cooperation. Their work contributes to the ongoing development of DanceSport and its activities.

On behalf of the World DanceSport Federation, I wish all members of the Japan DanceSport Federation a happy, healthy and successful New Year. I look forward to our continued collaboration and to the shared achievements that lie ahead in 2026.

Shawn Tay
WDSF President

2026年 新年のご挨拶

世界ダンススポーツ連盟会長として、2026年の幕開けにあたり、日本ダンススポーツ連盟ならびにその役員、選手、会員の皆様に心より新年のご挨拶を申し上げます。

昨年もまた、日本の国際ダンススポーツ界への貢献が顕著に示されました。福岡県久留米市で開催された2025年WDSF世界ブレイキン選手権をはじめ、本年早々に東京で開催されるWDSF-PDスーパーグランプリなど、主要なWDSFイベントの運営は、日本のダンススポーツを特徴づける組織力と献身的な姿勢を改めて体現するものでした。

2026年を見据え、ダンススポーツは真にグローバルな生涯スポーツとして進化を続け、あらゆる年齢層と競技分野において、参加・演技・自己成長の意義ある機会を提供します。WDSFはオリンピック・ムーブメントの価値観に沿い、ガバナンス強化、選手支援、公正かつ透明な競技環境の確保に引き続き尽力します。

日本はWDSF組織内で国際選手権の開催だけでなく、あらゆるレベルでの選手育成と関与を通じて貢献し、引き続き主導的役割を果たしています。日本ダンススポーツ連盟との継続的な連携は、アジアおよび世界におけるダンススポーツの持続的成長にとって重要な要素です。

日本ダンススポーツ連盟のリーダーシップ、役員、ボランティアの皆様の継続的なご尽力とご協力に感謝申し上げます。皆様のご尽力はダンススポーツとその活動の持続的な発展に寄与しています。

世界ダンススポーツ連盟を代表し、日本ダンススポーツ連盟の皆様が幸せで健康に満ちた、実り多い新年を迎えられますようお祈り申し上げます。2026年に向けた今後の継続的な協力と、共に成し遂げる成果を楽しみにしております。

ショーン・テイ
WDSF会長

(訳文：JDSF国際本部長 鵜崎清貴)

熱き戦い！舞い上がれ 日本の頂点へ！世界の頂点へ！！

第45回三笠宮杯 全日本ダンススポーツ選手権

2025年10月25日(土)・26日(日)

国立代々木競技場 第二体育館



グランドセレモニー

三笠宮杯は、1980年(昭和55年)、故三笠宮崇仁親王が旧日本アマチュアダンス協会(JADA)総裁にご就任いただいたことを記念してご下賜されました。記念すべき第1回三笠宮杯は、「'81テンカップ」として故三笠宮崇仁親王、百合子妃殿下のご臨席のもとに開催されました。その後、名実ともにダンススポーツ競技の頂点となる全日本選手権として毎年開催され今日まで発展してきました。



布村幸彦大会会長
(JDSF会長)



渡辺英美大会実行委員長

両殿下を偲ぶ

グランドセレモニーに先立ち、両殿下を偲び、場内に映像が流れ、「長年にわたりご厚情を賜り 誠にありがとうございました。百合子さまにおかれましては、誠に残念ながら昨年11月15日にご逝去されました。会員一同、心から哀悼の意を表します。本大会は第1回より崇仁殿下と百合子妃殿下に見守られて歩んできました。『ダンスは、国境を越えた人と人とのコミュニケーション文化であり、教養であり、誰でもが心から親しめる本能的娯楽でもあります。特に芸術性の高いダンススポーツの演技には、心を奪われる魅力があります。全国のダンススポーツ愛好家が集う三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権がこれからも益々発展し、ダンススポーツを通じて、広く国民が健康で生き活きとした人生を送られるとすれば、まさに私の喜びであります』。賜りましたお言葉を大切に、両殿下とのお約束を果たすべくこの三笠宮杯をこれからも100年続けて発展させていくことをお誓い申し上げます」と両殿下を偲び、そして感謝のアナウンスが流れました。



主催者を代表し布村幸彦JDSF会長は、故三笠宮崇仁親王・百合子妃殿下に感謝の辞を述べ、「三笠宮両殿下に黙祷を捧げていただきありがとうございました。三笠宮家を継がれた彬子殿下からも、100年にわたっても継続して頂きたい、とお言葉を頂戴しております。また、2028年の長野国民スポーツ大会(旧国体)では、ダンススポーツが正式な公開競技として開催され、群馬、鳥取へと毎年秋に引継がれてまいります」と挨拶がありました。

ご来賓の皆様



三笠宮杯
全日本ダンススポーツ選手権 St



準優勝

守屋駿・盛田舞香組
神奈川県



優勝

小嶋みなと・盛田めぐみ組(神奈川県)

今日はいつもと違う会場ですが、多くの観客の声援が届いて、とても力をいただきました。自分たちの取り組みの成果が出始めているという手応えを感じました。(盛田) 初めて表彰台で妹の舞香と並ぶことができ、夢が叶いました。世界で勝てる選手になることが目標なので、海外のコーチにレッスンを受けて、もっとランキングを上げたいと思っています。



第3位

ホワイトン 謙心・ホワイトン 夏奈実組
(ブルボンDST)



第4位

中村 エドワード 漸・中村 エリザベス 永理組(東京都)



第5位

倉科 翼・尾身 菜月組
(長野県)



第6位

Kampert Alexander・鎮西春奈組(千葉県)

三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権 La

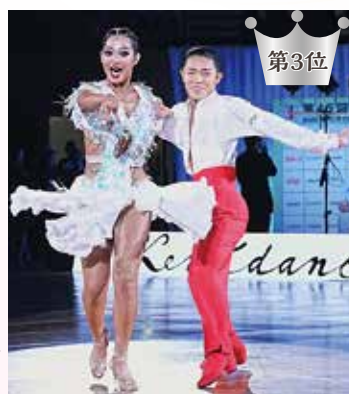


優勝



海老原 拳人・タカギ ルナ組(千葉県)

(海老原) 三笠宮杯はジュニアの頃から出場していて、この優勝を目指していたのでとても嬉しいです。(タカギ) まだ信じられませんが、持っている全てを出し切ってパフォーマンスできたと思います。カップルを組んで10年。何回も決勝に入っていました。表彰台の頂上は景色が違いました。JDSFのチャンピオンの名に恥じないようこれからも頑張ります。



第3位



第6位

太田 歩生・松本 京佳組
(北海道)



第5位

押川 慧悟・和田 知世組
(神奈川県)



高橋 海・小西 乙愛組
(千葉県)

第4位

ホワイトン 謙心・ホワイトン 夏奈実組
(ブルボンDST)



準優勝

今西 竜矢・大西 陽来里組
(ブルボンDST)



優勝



廣島 悠仁・大西 咲菜組 (The Zest)

(廣島) 今日は緊張していましたが、今は幸せな気持ちで一杯です。(大西) 私はプロポーズのことは何も聞いていなかったのですが、ようやく緊張の理由がわかりました。今日は優勝できて良かったです、これからもJDSF-PD競技会をメインとし、他の団体の試合にも積極的に出たいと考えています。また、近いうちにラテンに挑戦しますので、楽しみにしてください。当面の目標は来年5月の東京オープンのPDスーパーグランプリで決勝に入ることです。

三笠宮杯
全日本PDダンススポーツ選手権 St



準優勝

久保田 弓椰・徳野 夏海組
(TEAM YUMIYA HOKKAIDO)



第6位

秋谷 孝宏・田原 美穂組
(エムズダンスアカデミー)



第5位

高橋 一昌・高橋 由紀子組
(幸手K&Yダンスクラブ)



第4位

喜多田 芳起・細田 千代組
(ザ・ゴールデンパレス大阪)



第3位

山崎 圭太・石本 美奈子組
(エムズダンスアカデミー)



優勝



久保田 弓椰・徳野 夏海組
(TEAM YUMIYA HOKKAIDO)

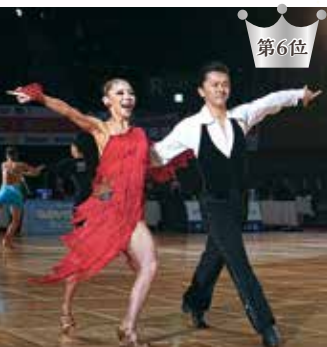
(久保田) 今回の代々木第二体育館はジュニアで初めて出場した思い出の会場なので、ここでの優勝は感慨深いです。(徳野) 三笠宮杯は特別の大会なので、毎回変わった踊りを準備してくるのですが、それをやり切れて優勝できたことがとても嬉しいです。これからも連勝の記録より記憶に残る踊りを目指していきます。

三笠宮杯全日本PDダンススポーツ選手権 La



準優勝

西恭平・西川 真由組 (LIBERADANCE)



第6位

上原 伸之・家人 由佳組
(DoA Studio)



第5位

近藤 寛之・西川 真由組
(水田ダンススタジオ)



第4位

高辻 博希・岡田 優美組
(タカソジダンススタジオ)



第3位

岸田 肇・岡田 祐子組 (岸田ダンスアカデミー)

全日本シニア I ダンススポーツ選手権 St



準優勝

森川 豊則・鈴木 悠夏組 (大阪府)

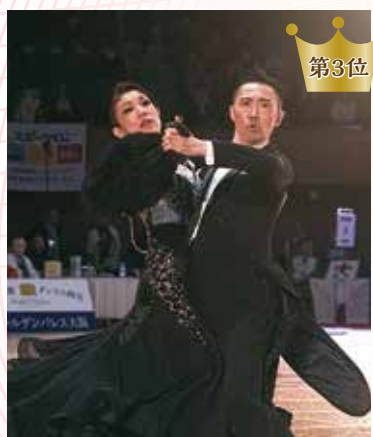


石田 茂之・矢野 美帆子組 (茨城県)

優勝は予想外だったのでビックリしています。私たちは10ダンサーですが、スタンダードで優勝できる日が来るとは思ってなかったので、とても励みになります。シニア選手でも諦めずに続ければ、いつか報われると信じて、皆さん頑張りました。ぜひ一緒に10ダンスやりましょう

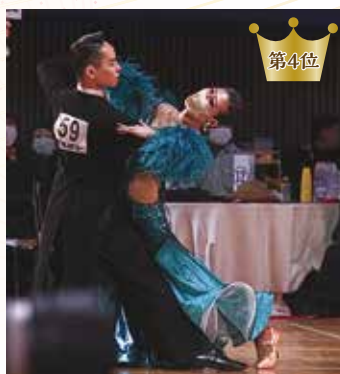


優勝



第3位

野口 雄一朗・奥野 亮子組 (東京都)



第4位

下岡 ヘンリー・今野 あゆみ組 (東京都)



第5位

高杉 耕一・高杉 綾子組 (東京都)



第6位

附田 優翼・附田 奈緒美組 (埼玉県)

全日本シニア I ダンススポーツ選手権 La



準優勝

久保 祥平・大本 エリナ組 (東京都)

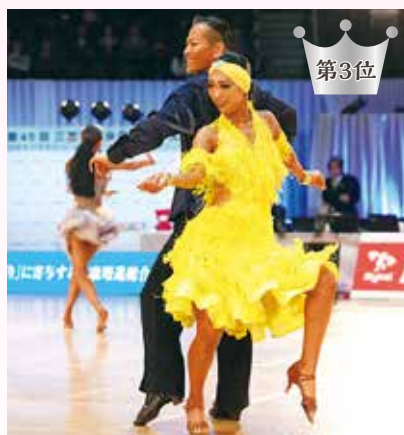


押川 慧悟・和田 知世組 (神奈川県)

三笠宮杯とシニア I の両方に出場していたので、38曲踊り最後は少し疲れしました。シニア I で優勝できたのは、いろいろなサポートをいただいたお陰かなと思っていて、特にJDSFのPTレでの踊り込みの海老原組には感謝しています。海外での目標はファイナル定着と表彰台、できれば優勝を狙いたいです！



優勝



第3位

石田 茂之・矢野 美帆子組 (茨城県)



第4位

村瀬 賢一・小笹 詩織組 (埼玉県)



第5位

山下 慶太郎・池田 綾香組 (愛知県)

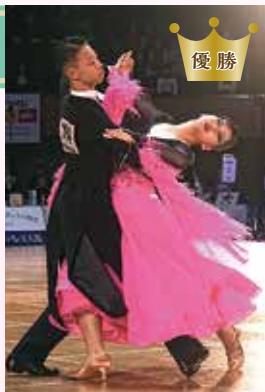


第6位

山本 哲郎・工藤 由美子組 (東京都)

全日本ダンススポーツ選手権 ジュニア St

三笠宮杯で優勝するために練習をしてきたので、嬉しいと同時にホッとしています。カップルを組んでから2年になりますが、ダンスは小学1年生くらいからやっています。当面の目標は世界選手権で良い成績を上げることです。



山下 晴之・安藤 茉例組
(神奈川県)

- 準優勝 齊藤 有音・柴田 莉奈組(千葉県)
第3位 足立 博海・加藤 向葵組(千葉県)
第4位 福原 聖太・土屋 海音組(埼玉県)
第5位 藤枝 修也・林 日和組(埼玉県)
第6位 本多 千杜・櫻庭 ゆりあ組(東京都)



全日本ダンススポーツ選手権 ジュニア La

三笠宮杯を目標にしてきたので優勝できてとても嬉しいです。カップルを組んで1年半くらい。予選は緊張していましたが、沢山の声援をいただいて緊張もほぐれ力になりました。ありがとうございます。



赤瀬 優斗・吉崎 空乃組
(神奈川県)

- 準優勝 水田 悠斗・大塚 千榮組(京都府)
第3位 齊藤 有音・柴田 莉奈組(千葉県)
第4位 黒嶋 将聖・加藤 向葵組(千葉県)
第5位 竹安 優・前川 美桜組(東京都)
第6位 児山 遥都・関根 乙央組(栃木県)



全日本ダンススポーツ選手権 ジュブナイル St

今日は3位以内を目標にしていたのですが、優勝だったのでとても嬉しいです。今回は最後のジュブナイルでしたので、一生懸命頑張って踊りました。



藤枝 良守・有川 緋音組
(埼玉県)

- 準優勝 高井 隆之介・竹下 暖乃組(神奈川県)
第3位 熊谷 奈々・栗原 梨央組(茨城県)
第4位 藤本 歩・大谷 美葵組(茨城県)
第5位 丸山 碧仁・丸屋 彩佳組(千葉県)
第6位 國友 奏成・堀越 千陽組(埼玉県)



全日本ダンススポーツ選手権 ジュブナイル La

昨日のスタンダードが2位だったので、今日は優勝できてとても嬉しいです。カップルを組んで1年。好きなのはスタンダードですが、成績はラテンの方が良いです。



高井 隆之介・竹下 暖乃組
(神奈川県)

- 準優勝 羽多野 梓衣南・佐藤 美依組(大阪府)
第3位 藤枝 良守・有川 緋音組(埼玉県)
第4位 藤本 歩・大谷 美葵組(茨城県)
第5位 天道 晴人・天道 さくら組(大阪府)
第6位 竹内 ビクトリア・今城 雨翰組(東京都)



東京都協賛事業

東京都スポーツ推進本部は、誰もがスポーツを楽しむ「世界に誇れるスポーツ拠点」の実現に向け、都民が気軽にスポーツやパラスポーツを楽しめる機会の充実、国際スポーツ大会の世界陸上・デフリンピックの開催支援や気運醸成、スポーツ施設の管理運営などを行なっています。



- ・お楽しみダンスタイム(するスポーツ)
Shall We Dance? スペシャルアテンダントも登場



- ・ボランティア募集(支えるスポーツ):
東京都スポーツ推進本部:スポーツ総合推進部スポーツレガシー活用促進課
大会ボランティアを募集し、多くの方が国内最高峰の熱戦を盛り上げてくれました。



- ・観戦無料300組(600名)ご招待(みるスポーツ)
都内在住、在勤、在学の希望者に、無料ペアチケットを配布しました。

- ・社交ダンスあるある川柳
広く皆さまに楽しんでいただく「川柳コンテスト」の優秀作品が、会場にて発表されました。

2025年度ランキング競技結果・ 2026年度JDSF競技会について

例年のように、2025年度のJDSFランキング競技会の結果、2026年度 JDSF競技会予定及び2026年版競技関連規程集の主な改訂点についてご報告いたします。



競技部長 星野 晴信

●2026年度 JDSF公認全国メイン競技会日程（予定）

JDSFメイン競技会（La：ラテンのみ、St：スタンダードのみ）

- | | |
|----------|---|
| 3/29 | PDグランプリカップin東京 La [新宿スポーツセンター] |
| 4/5 | ダンススポーツグランプリin熊本 St [大津町総合体育館] |
| 4/19 | ダンススポーツグランプリin京都 La |
| | PDグランプリカップin京都 St [西宇治体育館] |
| 5/23・24 | 東京オープンダンススポーツ選手権 [東京体育館] |
| 6/21 | PDグランプリカップin福岡 La [福岡宗像ユリックス] |
| 7/5 | ダンススポーツグランプリin富山 La [富山県総合体育センター] |
| 7/12 | ダンススポーツグランプリin静岡 St [グランシップ海] |
| 7/25・26 | オールジャパンジュニアダンススポーツカップin成田 [重兵衛スポーツフィールド中台体育館] |
| 7/26 | PDグランプリカップin愛知 St [津島市文化会館] |
| 9/13 | ダンススポーツグランプリin仙台 St |
| | PDグランプリカップin仙台 La [青葉体育館] |
| 9/27 | ダンススポーツグランプリin北海道 La |
| | PDグランプリカップin北海道 St [北海きたえーる] |
| 10/17・18 | 三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会 [東京体育館] |

その他、JDSF主要競技会等

- | | |
|------|---|
| 1/11 | 全日本シニア10ダンス選手権 [京都:伏見港公園体育館] |
| 2/22 | 全日本選手権ジュニア10ダンス [大阪:不死王閣グリーンホール] |
| 3/8 | 全日本選手権ユース10ダンス [京都:伏見港公園体育館] |
| 3/20 | 全日本PD10ダンス選手権 [福岡:宗像ユリックス] |
| 6/7 | 全日本10ダンス選手権 [愛知:千種スポーツセンター] |
| 8/2 | 日本スポーツマスターズ2026 石川大会記念事業DS競技大会 [いしかわ総合スポーツセンター] |
| 11/3 | 全日本シニアⅢ10ダンス選手権 [京都:西宇治体育館] |
| 11/8 | ねんりんピック埼玉2026 [埼玉:川越運動公園総合体育館] |

※2026年国際派遣選考競技会

2026～2028年度国際派遣選考競技会は部門別に以下のURLを参照ください。

https://www.jdsf.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/10/HakenSenkou_2026-2028.pdf

代表派遣を目指す選手の皆様は良くご覧になり、予定を立て奮ってご参加ください。

なお、2026年のジュニアSt、Laの選考は、グランプリin京都のジュニア区分、オールジャパンジュニアダンススポーツカップ、三笠宮杯全日本選手権ジュニア区分の3大会のポイントにより選抜されることとなっています。

また、2026年のユースSt代表選考はグランプリin富山、La代表選考はグランプリin静岡の全日本選手権ユース、オールジャパンジュニアダンススポーツカップ、グランプリin仙台的ユース区分の3大会のポイントにより選考とすることになりました。

以上のことをしっかりとご確認の上で、JDSF競技会にふるって参加して頂き、JDSF競技会がなお一層活性化されますことを願っております。

2026年	熊本 (大津町 総合体育館) 4月5日	京都 (西宇治体育館) 4月19日	富山 (富山県総合 体育センター) 7月5日	静岡 (グランシップ) 7月12日	オールジャパンジュニア 重兵衛スポーツフィールド 中台体育館(成田) 7月25・26日	仙台 (青葉体育館) 9月13日	北海道 (北海きたえーる) 9月27日	三笠宮杯 (東京体育館) 10月17・18日
グランプリ スタンダード	○			○		○		○
グランプリ ラテン		○	○				○	○
シニアI スタンダード		○	○				○	○
シニアI ラテン	○			○		○		○
ユース スタンダード			○		○	○		
ユース ラテン				○	○	○		
ジュニアII スタンダード		○			○			○
ジュニアII ラテン		○			○			○

注.
世界シニアⅠ選手権／ユース選手権／ジュニア選手権(スタンダード・ラテン)への派遣選考は、代表派遣をする世界選手権開催日2か月前を
起点とした3大会のポイント結果により選考。
全日本シニア10ダンス選手権 2026年1月11日(日)伏見港公園体育館
全日本ジュニア10ダンス選手権 2026年2月22日(日)不死王閣グリーンホール
全日本ユース10ダンス選手権 2026年3月8日(日)伏見港公園体育館
2026年度世界10ダンス選手権の派遣選考会は、2026年6月7日 名古屋:千種スポーツセンターで開催。

世界シニアⅡの派遣選考会は、2026年8月2日(日)日本スポーツマスターズ2026石川大会記念事業DS競技大会[いしかわ総合スポーツセンター]で開催。
世界シニアⅢの派遣選考会は、2026年8月2日(日)日本スポーツマスターズ2026石川大会記念事業DS競技大会[いしかわ総合スポーツセンター]で開催。
世界シニアⅣの派遣選考会は、2026年12月6日 大阪[不死王閣グリーンホール]開催
世界シニアⅤの派遣選考会は、2026年8月2日(日)日本スポーツマスターズ2026石川大会記念事業DS競技大会[いしかわ総合スポーツセンター]で開催。

●競技関連規程集について

競技会主催者、競技役員用の競技関連規程全てを掲載した「2026年版JDSF競技関連規程集」を12月に発行致しました。チェアパーソン（競技長）はじめ、競技会を運営される方はよくお読みになり、競技会開催時にはお手元におき、お役立て下さい。

2026年競技関連規程集の主な改訂ポイントと解説

- (P1)
第3条の3：シニアⅤ 及び シニアⅥ のエントリー資格について改訂。シニアⅥ は新設。
- (P4)
第28条の1：ただし地域事情を考慮し、前年実績および延べ150エントリー以下の競技会のA級戦は5名審判を特例として容認する。と改訂。
- (P6)
第40条の4：選手登録と更新について
但し、登録年度切り替え時に役を変えた場合は、カップル登録は無効となる。の文言追加。
- (P6)
第47条の2：競技中の危険防止について
選手は、LODの概念に基づいたアマルガメーションを使用し、危険防止に努めること。を追加。
- (P6)
第47条の3：リフトの禁止について
運用上の判断基準を追記。
リフトとは、組相手の補助によって両足が床から離れ、かつ人間が一人でジャンプした滞空時間を大幅に超える場合をリフトと判断する。
(距離や高さを出すなどのために行うジャンプ時の補助は含まない。)

- (P13)
第8条:選手の出遅れに対する対応を明文化
公認級別競技における各ラウンドの、各種目の競技開始時に集合場所（フロア）に現れない選手に対しては、原則として、その種目を未出場の扱いとする。
尚、その場合、最終ヒート等で踊らせる等の救済処置は行わない。
- (P50)
第18条:派遣費について
派遣費用は、JDSFの謝金規程および競技会主催者へのガイドラインに従う。と明確にした。
- (P71)
申請料などに関する規程 第2条: (4) と (5) を追加明文化
(4) グランプリ公認料に関する金額について追加。
(5) 特例開催公認料について追加。
従来JDSF主催で実施していた派遣選考会、ブロック選手権を加盟団体あるいはJDSFが承認した団体が主催する場合、特例開催公認料をJDSFに納入しなければならない。
また、賞金および派遣役員（JDSF指名の3名まで）の交通費、宿泊費、日当を負担しなければならない。
特例開催公認料は、主催団体との協議により変更することができ、上限を15万円とする。

- その他1
新審判方式の文言について、絶対評価審判方式と改訂。
- その他2
下線は改訂重要部分のみとし、その他、文言や数字等の加除訂正、配列の訂正、変更などをした。
- その他3
P62 ～ P69の朱文字箇所は、2025年11月28日の理事会にてシニアⅠ選考基準および選考起点改訂案の承認を受けての改訂。
※その他3についての改訂内容は、製本版では未対応のため公式HP内のWeb版よりご確認ください。

2025年度JDSFランキング競技の結果

全日本ダンススポーツランキング

●スタンダード

1位	小嶋みなと・盛田めぐみ	神奈川県
2位	ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実	ブルボンDST
2位	守屋 駿・盛田 舞香	神奈川県
4位	中村エドワード漸・中村エリザベス永理	東京都
5位	Kampert Alexander・鎮西 春奈	千葉県
6位	外村 温仁・田中 夏希	ブルボンDST
7位	倉科 翼・尾身 菜月	長野県
8位	八重田裕也・坂本 文音	長野県
9位	吉田 周平・吉田 有沙	神奈川県
10位	佐藤 祐馬・久保田理沙	東京都



1位 小嶋 みなと・盛田 めぐみ



2位 ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実



2位 守屋 駿・盛田 舞香

●ラテン

1位	海老原拳人・タカギルナ	神奈川県
2位	今西 竜矢・大西陽来里	ブルボンDST
2位	高橋 海・小西 乙愛	千葉県
4位	ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実	ブルボンDST
5位	押川 慧悟・和田 知世	神奈川県
6位	小島 獅桐・鉄島 芽衣	群馬県
7位	山下 遥聖・山下実彩妃	愛知県
8位	南山 雄大・寺本 彩央	長野県
9位	エンジェルガルエンファルジー・ムンパタルビャンパスレン	山梨県
9位	福馬 智生・泉名 咲璃	東京都



1位 海老原 拳人・タカギルナ



2位 今西 竜矢・大西 陽来里



2位 高橋 海・小西 乙愛

PD全日本ランキング

●スタンダード

1位	久保田弓椰・徳野 夏海	TEAM YUMIYA 北海道
2位	山崎 圭太・石本美奈子	エムズダンスアカデミー
3位	喜多田芳起・細田 千代	ザ・ゴールデンバレス大阪
4位	高橋 一昌・高橋由紀子	幸手K&Yダンスクラブ
5位	秋谷 孝宏・田原 美穂	エムズダンスアカデミー
6位	壺内 康文・壺内 美和	スターロードダンスセンター
7位	前田 雅仁・宮崎 梢	まえだダンス倶楽部
8位	見元 克至・北畑 香織	アサノダンススクール
9位	廣島 悠仁・大西 咲菜	The Zest
10位	長谷川和美・長谷川 祥	長谷川和美ダンススタジオ



1位 久保田 弓椰・徳野 夏海

●ラテン

1位	久保田弓椰・徳野 夏海	TEAM YUMIYA 北海道
2位	西 恭平・西川 真由	LIBERA DANCE
3位	高辻 博希・岡田 優美	タカツジ・ダンス・スタジオ
4位	上原 伸之・家入 由佳	DoA Studio
5位	近藤 寛之・西川 真由	水田ダンススタジオ
6位	川田 悟・梅原理奈子	KAWATA Dance Club
7位	前田 雅仁・宮崎 梢	まえだダンス倶楽部
8位	岸田 肇・岡田 祐子	岸田ダンスアカデミー
9位	多伊良和彦・松井美穂子	タイラダンススタジオ
10位	藤見 昭次・藤見 美子	フジミD&R



1位 久保田 弓椰・徳野 夏海

1位 森川豊則・鈴木悠夏



シニアIランキング

●スタンダード

1位	森川 豊則・鈴木 悠夏	大阪府
2位	石田 茂之・矢野美帆子	茨城県
3位	大嶋 隆義・秋吉 花音	東京都
4位	野口雄一朗・奥野 亮子	東京都
5位	高杉 耕一・高杉 綾子	東京都

●ラテン

1位	押川 慧悟・和田 知世	神奈川県
2位	久保 祥平・大本エリナ	東京都
3位	村瀬 賢一・小笹 詩織	埼玉県
3位	石田 茂之・矢野美帆子	茨城県
5位	山本 哲郎・工藤由美子	東京都
5位	山下慶太郎・池田 綾香	愛知県



1位 押川 慧悟・和田 知世

1位 外村温仁・田中夏希



ユースランキング

●スタンダード

1位	外村 温仁・田中 夏希	ブルボンDST
2位	吉岡 栄太・打越 心優	東京都
3位	茂呂 駿舞・今村 朱里	ブルボンDST
3位	山下 晴之・磯部 愛	ジュニアスリートクラブ
5位	原澤 英大・竹之内梨音	ブルボンDST

●ラテン

1位	南山 雄大・寺本 彩央	長野県
2位	吉岡 栄太・細見マリア	東京都
3位	原澤 英大・竹之内梨音	ブルボンDST
4位	伊達 楓真・嶋田 虹花	京都府
5位	藤枝 大河・宮澤 めぐ	埼玉県



1位 南山 雄大・寺本 彩央

1位 山下晴之・安藤美俐



ジュニアランキング

●スタンダード

1位	山下 晴之・安藤 美俐	ジュニアスリートクラブ
2位	斉藤 有音・柴田 莉奈	千葉県
3位	山下 夏野・寺本 ゆう	ジュニアスリートクラブ
4位	赤瀬 優斗・吉崎 空乃	神奈川県
4位	吉岡 栄太・勝木 里桜	東京都

●ラテン

1位	赤瀬 優斗・吉崎 空乃	神奈川県
2位	斉藤 有音・柴田 莉奈	千葉県
3位	齊藤 礼琉・田山 逸果	神奈川県
4位	水田 悠斗・大塚 千榮	京都府
5位	渡邊 桐葉・深澤 結愛	山梨県



1位 赤瀬 優斗・吉崎 空乃

ジャンル超えたダンス交流の場

SHIZUOKA ダンスコレクション

静岡県ダンススポーツ連盟

2025年10月12日(日)／グランシップ「海」

主催：静岡県ダンススポーツ連盟

主管：静岡県スポーツ協会、静岡県ボールルームダンス連盟、静岡県レクリエーション協会
(公社)日本ダンススポーツ連盟、中日新聞東海支社

静岡県では、10月1日～31日の期間を『ふじのくにスポーツ推進月間』と定め、スポーツに親しむ月として啓発しその機運を高めるように、市町やスポーツ関係団体等と協力して推進しています。

ダンスは音楽・リズムに合わせて身体を躍動させる人間本来の歓びを表現するものです。ジャンルを超えたダンス仲間が集い、子供たちから大人までダンスの魅力を体感できる「踊って楽しい! 見て楽しい!」ダンスの交流イベントです。10月12日(日)、今年で7回目を迎えた「SHIZUOKAダンスコレクション(通称:ダンコレ)」は、回を重ねる度に充実し、熱気あふれるダンコレとなりました。



金子和裕静岡DS連盟
会長の挨拶



水野敏明実行委員長
(静岡県DS連盟副会
長)の挨拶



溝口稔大会顧問(JDSFジュニア
育成部長)によるプレミアムダンス

シヨードダンス



フォーメーションダンス



スペシャルデモンストレーション＆ワークショップ

3歳と2歳からダンスを始めた三笠宮杯ファイナリスト。全日本チャンピオンを目指す19歳と18歳の兄妹カップル。ワークショップも担当しダンスの魅力をアピールしました。



ホワイトン組のワークショップ

ジュニアトライアル



ジュニアパフォーマン



ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実 組
(ブルボンDST)



ベリーダンス

JAZZ ダンス



ジュニアJAZZ①



ジュニアJAZZ②



キッズJAZZ



HIPHOP



プレミアムトライアル



2025ダンススポーツグランプリ in 北海道& PDグランプリカップ ラテン

グランプリ スタンダード

(2026WDSF世界選手権スタンダード代表選考会)

PDグランプリカップ ラテン

(2026WDSF-PD世界選手権ラテン代表取得対象競技会)

シニアI選手権ラテン

(2026WDSFシニアI選手権ラテン代表選考競技会)

2025年9月28日(日) / 北海道立総合体育館(北海きたえーる)



主催者を代表して挨拶する山口剛JDSF常務理事



実行委員長・チェアパーソン 高橋毅 北海道ブロック委員長

「2025ダンススポーツグランプリ in 北海道」が、札幌市豊平の「北海きたえーる」サブアリーナで開催されました。グランプリスタンダードでは、小嶋みなと・盛田めぐみ組(神奈川県)が圧倒的なパフォーマンスで全種目、全評価基準で2位以下を引き離し完全優勝を果たしました。また、今年結成したカップルの倉科翼・尾身菜月組(長野県)が健闘し6位で初ファイナル入りを果たしました。

もう一つのメイン競技、PDグランプリカップラテンでは、久保田弓椰・徳野夏海組(Team YUMIYA北海道)が多く声援を受けて優勝し、グランプリカップラテンの連勝を7としました。また、シニアI選手権ラテンでは、押川慧悟・和田知世組(神奈川県)が競技途中に見舞われた鼻血のアクシデントものともせず、気合の入った踊りで全種目1位を獲得し、見事優勝に輝きました。

グランプリスタンダード

優勝



小嶋 みなと・盛田 めぐみ組
(神奈川県)

準優勝



中村 エドワード漸・中村 エリザベス永理組
(富山県)

第3位



Kampert Alexander・鎮西 春奈組(千葉県)

第4位



守屋 駿・盛田 舞香組
(神奈川県)

第5位



外村 温仁・田中 夏希組
(ブルボンDST)

第6位



倉科 翼・尾身 菜月組(長野県)



優勝



久保田 弓椰・徳野 夏海組 (TEAM YUMIYA北海道)

PDグランプリカップラテン

準優勝



西 恭平・西川 真由組 (LIBERA DANCE)

第3位



高辻 博希・岡田 優美組
(タカツジ・ダンス・スタジオ)

第4位



上原 伸之・家入 由佳組
(DoA Studio)



第5位

近藤 寛之・西川 真由組
(水田ダンススタジオ)

第6位



川田 悟・梅原 理奈子組
(KAWATA Dance Club)

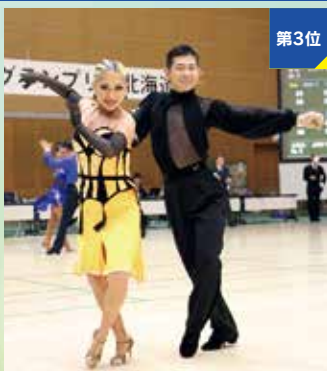
シニアI選手権ラテン

第4位



山本 哲郎・工藤 由美子組 (東京都)

第3位



村瀬 賢一・小笹 詩織組 (埼玉県)



準優勝



久保 祥平・大本 エリナ組
(東京都)

優勝



押川 慧悟・和田 知世組 (神奈川県)



第6位

藤本 健治・デビエラ・隠地 沙保組
(兵庫県)



第5位

山下 慶太郎・池田 綾香組
(愛知県)

JDSFA級戦ラテン



太田 歩生・松本 京佳組 (北海道)

2025西部ブロックGD・PDダンススポーツ選手権 第18回プレミアダンス大会 全日本選手権シニアⅣ(2026WDSFシニアⅣ世界選手権日本代表選考会)

2025年10月5日(日)／三井ショッピングパークららぽーと堺 スタジアムコート 主催：西部ブロックGD・PD

この大会はJDSFの西部ブロックにおけるGD部門とPD部門が協力して運営する競技会。そして会場は、ショッピングセンター「ららぽーと堺」の中にある、Fansta XROSS STADIUMという広いスペースで、今年で3年目の開催となります。買い物に来られた一般のお客様にもご覧いただけるという、ダンススポーツの広報を兼ねたユニークな大会となっています。

プレミアダンス大会として行なわれたPDオープンスターダートは、西部ブロックランキング1位で全日本PDファイナリストの喜多田芳紀・細田千代組(ザ・ゴールデンパレス大阪)が安定し

た踊りで観客を魅了し優勝しました。全日本選手権シニアⅣスタンダードは、18組のエントリーの中、海外の競技会でも活躍している松村健樹・松村栄子組(奈良県)が見事優勝し大会3連覇を達成。同ラテンは杉山典克・杉山美子組(静岡県)が4年ぶりの優勝を飾りました。

また、ショッピングセンターならではの企画として、競技の合間に観客参加型の「みんなで踊ろう社交ダンス」の時間が設けられ、未経験の方でも踊れる簡単なステップで、音楽に合わせて踊る楽しさを体験しました。

みんなで踊ろう社交ダンス



谷口主嘉GD大会会長
(GD西部ブロック
運営委員長)



岡田大輔PD大会会長
(PD西部ブロック
運営委員長)



(左から) 高比良花香、天道晴人、福岡綾の3名による選手宣誓



優勝



喜多田 芳起・細田 千代組
(ザ・ゴールデンパレス大阪)

準優勝



前田 雅仁・宮崎 梢組
(まえだダンス倶楽部)

PDオープンスターダート



シニアⅡA級戦 スタンダード



JBDF B級戦 スタンダード



JBDF B級戦 ラテン



JBDF C級戦 スタンダード



JDSF D級戦 スタンダード

第3位



西川 和孝・大木 美季組(西部PD)



第4位 岡本 直樹・森下 恵未組(N DANCE STUDIO)

第5位 平田 裕一郎・平田 みか組

全日本選手権シニアIV スタンダード



優勝

松村 健樹・松村 栄子組(奈良県)



準優勝

冬野 英和・冬野 朋子組(千葉県)



第3位

松林 勝・藤 めぐみ組(滋賀県)

第4位

新里 哲郎・寺地 香組(大阪府)

第5位

石川 誠一・石川 美智子組(新潟県)

第6位

鈴木 道明・内田 和子組(神奈川県)



全日本選手権シニアIV ラテン



優勝

杉山 典克・杉山 美子組(静岡県)



第3位

水野 欽司・水野 ひろ子組(東京都)



鈴木 道明・内田 和子組(神奈川県)



第4位

栗林 幸範・左雲 和子組(大阪府)

第5位

倉田 昌典・倉田 真理子組(大阪府)

JDSFA級戦



スタンダード



ラテン



優勝

St&La



太田 歩生・松本 京佳組(北海道)

プレジュニア スタンダード



今井 天月・正木 葵組
(ジュニアアスリートクラブ)



優勝

(同点)



優勝

St&La

(同点)



プレジュニア ラテン



水田 悠斗・大塚 千栄組
(京都ジュニアD.S.C.)

2025年度 第70回 全日本学生競技ダンス選手権大会

2025年12月6日(土)・7日(日)／獨協大学35周年記念館アリーナ

全日本学生競技ダンス連盟は、北は北海道から九州まで7つの学連により構成されています。7つの学連が一堂に会し開催される全日本戦は年2回。7月の全日本学生選抜競技ダンス選手権は夏全とも称され、スタンダード、ラテン各競技4種目総合で順位が競われますが、冬全と呼ばれる12月の全日本学生競技ダンス選手権は、1大学・1種目・1カップルのみの出場に限られています。冬全は各大学の1年間のクラブ活動の総括の場となり、最上級生にとっては4年間の集大成となる最後の競技会となります。今年は、会場の使用ルールの変更に合わせ、12月6日・7日の二日間開催となりました。

6日(土)はフォーメーション競技が行われ、各学連(ブロック)の代表12大学で競われ、電気通信大学が優勝。7日(日)の個人戦は、スタンダード4種目・ラテン4種目が開催され、団体優勝は夏全5連覇中の北海道大学が冬全4連覇を達成しました。



左から栗栖太全日本学連会長、神宮周二全東北学連副会長、奥山俊一審査員長



Waltz優勝

佐藤 雅俊・安藤 由里彩(電気通信大学)



Tango優勝

外園 隼・田中 美羽(上智大学)



Slow Foxtrot優勝

奥村 翼・早川 茉莉香(東京大学)



Quickstep優勝

加藤 幹大・金澤 美穂(上智大学)



ChaChaCha優勝

山崎 奏汰・今西 彩(中央大学)



Samba優勝

村田 悠真・木村 文香(北海道大学)



Rumba優勝

三浦 遙大・西村 恵衣(早稲田大学)



Paso Doble優勝

松井 隼人・金田 紗奈(電気通信大学)



Formation優勝 電気通信大学「The Greatest Show」

団体成績

優勝	北海道大学
2位	電気通信大学
3位	東京大学
4位	慶應義塾大学
5位	岡山大学
6位	上智大学



4連覇を果たした北海道大学



千葉県便り

《5種目戦のシニアⅣ選手権》

2025千葉県ダンススポーツ選手権シニアⅣ 第22回千葉西支部ダンススポーツ競技大会

2025年12月6日(土)／市川市国府台市民体育館

主催：千葉県ダンススポーツ連盟千葉西支部



競技会場

12月6日(土)、千葉縣市川市で「千葉県ダンススポーツ選手権シニアⅣ・第22回千葉西支部ダンススポーツ競技大会」が開催されました。シニア選手会から「関東甲信越ブロック選手権はシニア系も5種目で開催し、権威のある大会にしてみたい」という要望があり、千葉県選手権シニアⅣで5種目戦を開催して、実証実験をすることになりました。

千葉県選手権シニアⅣは、7人審査、5種目戦(最終予選から)、縦割り、スタンダード準決勝2ヒート、動画アーカイブ配信を行ない、1次予選からジャイブとヴィエニーズワルツを入れることにしました。その結果、青森・福島・新潟・長野・岐阜などを含むラテン14組、スタンダード52組のエントリーとなりました。5種目にも関わらず、両区分参加の組も複数いました。

スタンダード部門では、1ヒートの組数は予選は8～9組、準決勝・決勝は6組と、実力を発揮しやすい環境としました。また、5曲を続けて踊る場合、2回の給水タイムを設けました。専用の練習場所は設けられませんでした。1次予選からエンジン全開の踊りが展開され、「一般A級戦の3次予選レベルだ」という声も聞こえてきました。1次予選のヴィエ



大会会長(千葉西支部長) 奥田敏行



千葉県DS連盟会長 渡辺英美



応援に駆け付けるオレクシー・太田組

ニーズワルツは期待と不安がありましたが、どの選手も華麗な踊りで魅了されました。

決勝に残った6組は、5ラウンドの戦い、大変な持久力が要求されましたが、見事に踊りきり観客を感動させました。結果は、ラテンは鈴木道明・内田和子組、スタンダードは大塚勝男・大塚孝子組が優勝。最後まで大勢が残って声援を送ってくれた事も特筆すべき点でした。多くの選手や観客から、とても素晴らしい大会だったとの声があり、シニア選手でも十分5種目戦を戦うことができ、多くの感動を与えられることが証明され、シニアの底力を感じる大会となりました。

大会会長(千葉西支部長)：奥田敏行

千葉県選手権シニアⅣスタンダード



優勝
大塚勝男・大塚孝子組(埼玉県)



準優勝
吉村真治・吉村美恵子組(東京都)



第3位
土屋寛敏・土屋和美組(千葉県)



第4位
田中豊・田中ひろみ組(長野県)



第5位
宮内秀幸・宮内久美子組(千葉県)



第6位
川島俊明・川島道子組(東京都)

千葉県選手権シニアⅣラテン



優勝
鈴木道明・内田和子組(神奈川県)



準優勝
初見基・初見智恵子組(茨城県)



第3位
萩庭賢了・金子富美江組(東京都)



第4位
安藤安夫・上野清美組(岐阜県)



第5位
大谷晃也・大谷真里子組(埼玉県)



第6位
石山誠・石山直子組(千葉県)

～清流に輝けひろがれ 長寿の輪～

第37回全国健康福祉祭りふ大会 ねんりんピック岐阜 ダンススポーツ交流大会



ねんりんピック岐阜2025
マスコットキャラクター
「ミナモ」

2025年10月19日(日)／飛騨高山ビッグアリーナ

主催：厚生労働省、岐阜県、一般財団法人長寿社会開発センター、高山市

共催：スポーツ庁

主管：岐阜県ダンススポーツ連盟

「ねんりんピック」は、「全国健康福祉祭」の愛称で60歳以上の方を中心にスポーツ、文化、健康と福祉の総合的祭典です。スポーツの交流大会や、文化・健康・福祉に関する様々なイベントが開催され、高齢者の生きがいづくりや社会参加、世代間交流を促進し、活力ある長寿社会の実現を目指して毎年開催されています。「第37回全国健康福祉祭りふ大会（ねんりんピック岐阜2025）」は、10月18日から21日ま

で岐阜県内全24市町で31種目が開催され、ダンススポーツは高山市で425名が参加して開催されました。個人戦はワルツ、タンゴ、チャチャチャ、ルンバの4種目に延べ713組が会場。団体戦は、北は岩手県から南は沖縄県まで51の都府県や政令指定都市のチームが会場しました。応援のボルテージが一段と上がる団体戦は、ラテン個人戦1位、2位の選手を擁した東京都Aチームが優勝メダルを手に入れました。

主催者あいさつ



田中明高山市長
(大会実行委員長)



清水雅博
高山市副市長
(大会実行委員副会長)



和田美谷幸岐阜県
ダンススポーツ連盟会長
(競技実行委員長)



伊東寿充
高山市議会議長



毎原保信チェアパーソン
による競技諸注意



応援に駆け付けてくれた
若井敦子参議院議員

選手宣誓



各務 均・各務 登代子組
(岐阜県選手団代表)

団体戦



東京都Aチーム (東京都)



みやびで楽しい仲間たち (京都市)



名古屋チーム (名古屋市)



スマイルダンス北九州 (北九州市)



水戸黄門様ご一行 (茨城県)



チーム岩手2025「かわいいくりたち」 (岩手県)
※「かわいいくりたち」は選手の頭文字を集めたもの



東京都Bチーム (東京都)



久保田弓椰・徳野夏海組 (JDSF-PD北海道所属)

模範演舞



個人戦スタンダード



W・T
優勝

谷口 主嘉・谷口 小夜子組 (京都市)



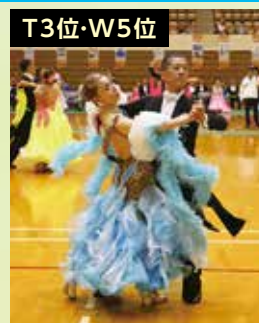
W・T
2位

千葉 英明・千葉 順子組 (岩手県)



W
3位

土屋 寛敏・土屋 和美組 (千葉県)



T3位・W5位

田中 克典・小山 美香子組 (東京都)



W4位・T6位

田中 豊・田中 ひろみ組 (長野県)



T4位・W6位

甲斐 他美夫・甲斐 幸子組 (北九州市)



T
5位

佐々木 雅彦・飯島 道子組 (東京都)



W
7位

酒井 正廣・酒井 あけみ組 (山梨県)



W
8位

堤 憲治郎・堤 薫組 (福岡県)



表彰式 ● ワルツ



表彰式 ● タンゴ



C・R
優勝

国松 正尚・国松 千絵組 (東京都)



C・R
2位

田中 克典・小山 美香子組 (東京都)



C・R
3位

黒澤 達也・鈴木 ひとみ組 (茨城県)



C4位・R5位

田代 浩・田代 智子組 (三重県)



R4位・C5位

谷口 主嘉・谷口 小夜子組 (京都市)



C
6位

伊藤 勝示・伊藤 ともえ組 (京都市)



R
6位

藤重 哲哉・藤重 恵子組 (北九州市)



C
7位

中谷 光夫・蒲田 智子組 (東京都)



R
7位

酒井 正廣・酒井 あけみ組 (山梨県)



表彰式 ● チャチャチャ



表彰式 ● ルンバ



アトラクション

2023年全日本選手権ジュニアの部優勝
宮本侑信 (yu-shin) によるプレイキン

最高齢者表彰



男性
石橋弘選手
91歳
(広島市)



女性
田辺キノ選手
89歳
(新潟市)

東京オープン2026でダンスを楽しもう!!

第25回 東京オープン・ダンススポーツ選手権 WDSF公認 2026年5月23日(土)・24日(日) 東京体育館

WDSF PD Super Gland Prix Standard / WDSF International Open Standard / WDSF Open Latin

1 世界最高峰の競演を堪能!

世界チャンピオンなどトップ選手多数来日予定!
世界レベルの舞をご覧ください!

5/23・24
両日開催

今年の
東京オープンは
5/23・土曜日は
入場無料!!

2 競技フロアでダンスを踊ろう!

1 Shall We DANCE?

～ダンスタイムをお楽しみ下さい。

ダンスシューズをご持参の上、参加してください。

リード頂く選手やボランティア募集!

競技観戦・ダンス体験・お買い物etc
お気軽にお立ち寄りください。



◀イメージフォト

2 ダンス体験会

ダンスを踊ったことのない方にダンスを体験して頂くイベントです。
踊ったことのない方、楽しいダンスを体験してみましょう。

運動靴、スニーカーでも参加出来ます。お子様からシニアまで、気軽にフロアにお越しください。
もちろん、ダンス経験者の方も参加できます。

開催
予定

5/23
開催

3 トップ選手との握手会付フォトセッション



※前回イメージフォト

詳細は、JDSFホームページの
東京オープンのサイトをご覧ください。

<https://www.jdsf.or.jp/competit.on/tokyoopen2026/>



5/24
開催



4 来場者限定抽選会!

会場で抽選会に応募して、スポンサー各社からの素敵なプレゼントをゲットしよう!!

5 ショッピング&フード

1 競技フロア近くでドレス、シューズ、アクセサリ など多数の専門店が出店!

ここでしか買えないお買い得品や掘り出し物をお求めいただけます。使用シーンを思い浮かべながら、実物を手に取って選んでいただけます。ダンス用品を選ぶ機会として、ぜひご活用ください。



※前回イメージフォト

2 体育館広場にキッチンカーが出店! 観戦の合間に美味しい料理お楽しみください!



※前回イメージフォト

ダンス・ダンス・ダンス

第118号(Winter)

令和8年2月発行

■ 発行人 / 中道俊之(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)
■ 編集人 / 神宮周二(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部相談役)
■ 編集長 / 奥水洋一(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)
■ 企画 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部
■ 発行所 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟
〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階
<https://www.jdsf.or.jp>

TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。